

令和8年度 LINE を活用したアンケート調査結果  
**「ふくしま田園中枢都市圏に関するアンケート」**

作成：福島市政策調整課

テーマ	ふくしま田園中枢都市圏に関する住民意識調査
目的	福島市、二本松市、伊達市、本宮市、桑折町、国見町、川俣町、大玉村、飯舘村の9市町村は、令和4年に「ふくしま田園中枢都市圏」を形成し、地域の活性化や持続可能な行政サービスの提供のため、「ふくしま田園中枢都市圏ビジョン」に基づき連携して取り組んでいます。第2期ビジョン策定にあたり、圏域の暮らしやすさや充実を望む取り組みなどについて、住民の皆様の意見を伺いました。

【調査期間】	令和8年5月1日(金)～5月31日(日)
【対象者数】	圏域各自治体の公式 LINE 登録者 72,702 人 (ほか、各種 SNS、広報誌による周知)
【回答者数】	2,438人
【回答率】	3.4%
上記のうち、福島市公式 LINE を活用したアンケート調査	
【調査期間】	令和8年5月15日(金)～5月31日(日)
【対象者数】	56,353人 (市公式 LINE 友だち登録者のうち、受信設定が市内かつアンケート同意者)
【回答者数】	2,084 人
【回答率】	3.7%

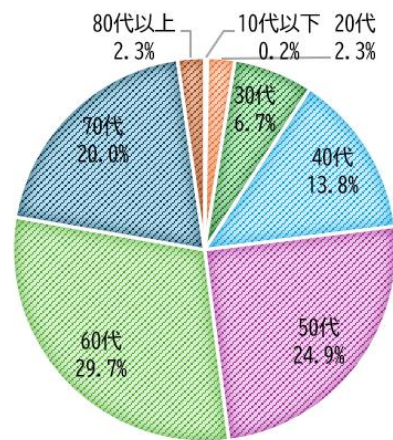
**問1** お住まいの市町村を教えてください。

福島市	2,109人
二本松市	23人
伊達市	66人
本宮市	7人
桑折町	129人
国見町	37人
川俣町	52人
大玉村	2人
飯舘村	13人

<回答者数:2,438 人>

**問2** 年代を教えてください。

10代以下	6人
20代	56人
30代	163人
40代	337人
50代	608人
60代	725人
70代	488人
80代以上	55人

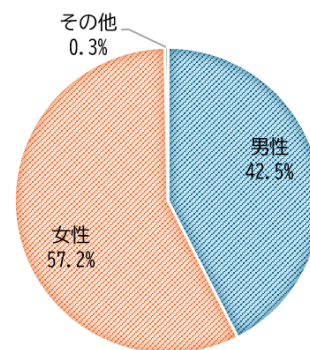


<回答者数:2,438 人>

※グラフの構成比は四捨五入しているため、内訳の合計が100%にならない場合があります。(以下同)

**問3** 性別を教えてください。

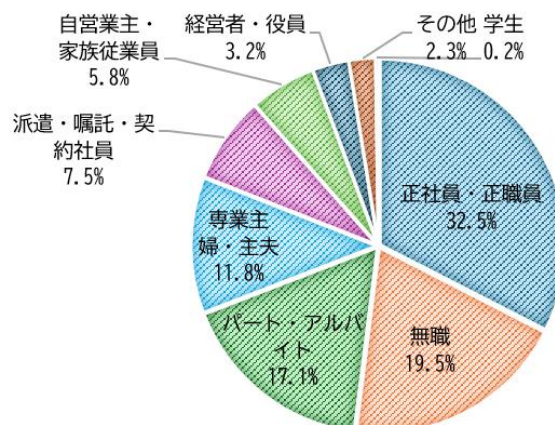
男性	1,036人
女性	1,394人
その他	8人



<回答者数:2,438 人>

**問4** 主な勤務形態を教えてください。

正社員・正職員	793人
無職	475人
パート・アルバイト	418人
専業主婦・主夫	288人
派遣・嘱託・契約社員	184人
自営業主・家族従業員	141人
経営者・役員	77人
その他	56人
学生	6人



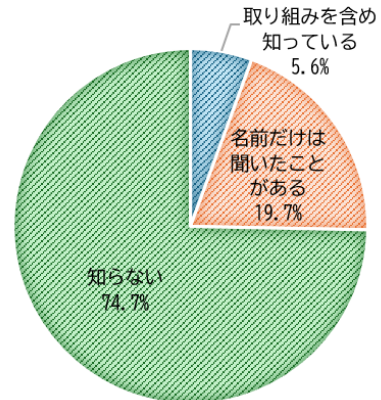
<回答者数:2,438 人>

問5

4市3町2村で「ふくしま田園中枢都市圏」を形成し、様々な連携事業を実施していることを知っていますか。

取り組みを含め知っている	137人
名前だけは聞いたことがある	480人
知らない	1,821人

<回答者数:2,438人>



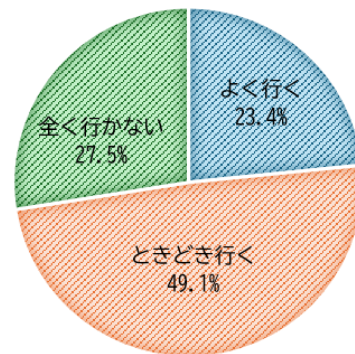
「ふくしま田園中枢都市圏」の認知度について、全体の75%が「知らない」と回答しており、周知を強化する必要があることがわかりました。

問6

日常生活において、買い物など余暇活動で、お住まいの市町村以外の「ふくしま田園中枢都市圏内」の市町村に行くことはありますか。

よく行く	571人
ときどき行く	1,197人
全く行かない	670人

<回答者数:2,438人>



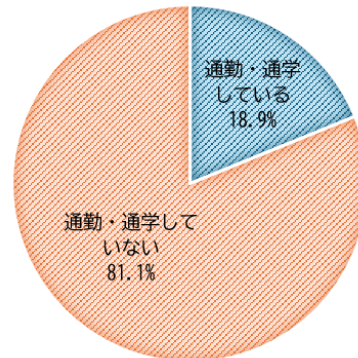
余暇活動による圏域市町村間の移動状況は、7割以上が「よく行く」「ときどき行く」と回答しており、買い物などの目的で、一定程度、交流が行われていることがわかりました。

問7

お住まいの市町村以外の「ふくしま田園中枢都市圏内」の市町村に通勤・通学していますか。

通勤・通学している	460人
通勤・通学していない	1,978人

<回答者数:2,438人>



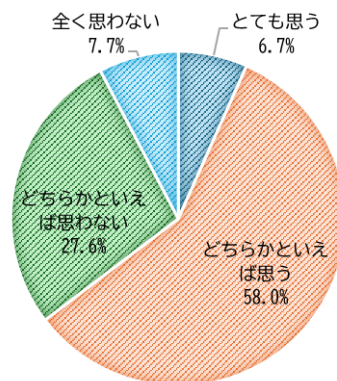
約 2 割の方が、居住地から他の圏域市町村に「通勤・通学している」と回答しており、市町村間の結びつきが強いことがわかりました。

問8

ふくしま田園中枢都市圏は、暮らしやすい地域だと思いますか。

とても思う	163人
どちらかといえば思う	1,413人
どちらかといえば思わない	674人
全く思わない	188人

<回答者数:2,438人>



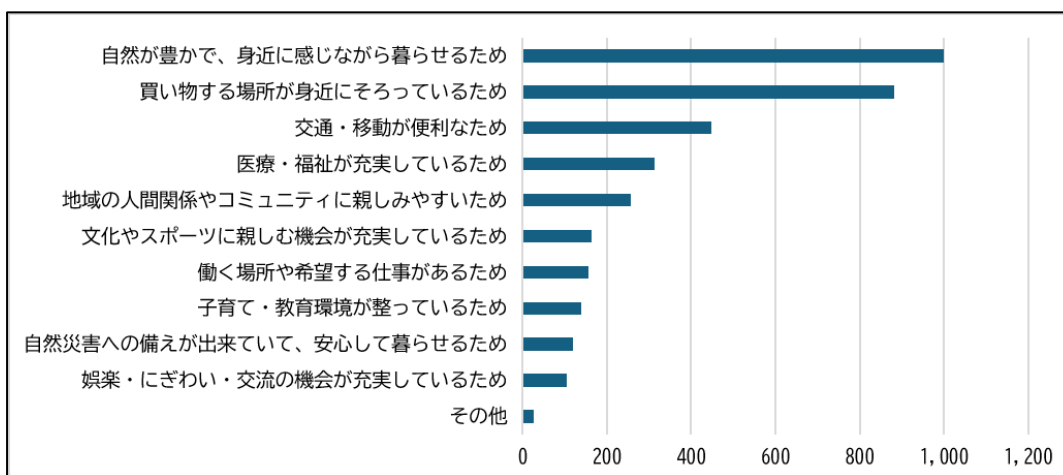
ふくしま田園中枢都市圏の暮らしやすさについて、約 6 割が「とても思う」または「どちらかといえば思う」と回答していますが、「どちらかといえば思わない」「全く思わない」との回答も 4 割近くに上りました。

問9

Q8 でとても思う、どちらかと言えば思うと回答した理由を、3 つまで選択してください。

自然が豊かで、身近に感じながら暮らせるため	999人
買い物する場所が身近にそろっているため	881人
交通・移動が便利のため	448人
医療・福祉が充実しているため	312人
地域の人間関係やコミュニティに親しみやすいため	256人
文化やスポーツに親しむ機会が充実しているため	163人
働く場所や希望する仕事があるため	157人
子育て・教育環境が整っているため	139人
自然災害への備えが出来ていて、安心して暮らせるため	119人
娯楽・にぎわい・交流の機会が充実しているため	104人
その他	24人

<回答者数:のべ3,602人>



(その他の主な回答)

- ・食べものが美味しい、静か、温泉がある。
- ・混雑が少ないから。
- ・日常生活に困らないくらいのちょうどいい田舎で都心などへのアクセスもいいから。
- ・昔ながらの個人商店が残っておりほのぼのする。
- ・比較的、雪が少なく暮らしやすい。
- ・高齢者が多く、静かで穏やかに自分のペースで生活できる。

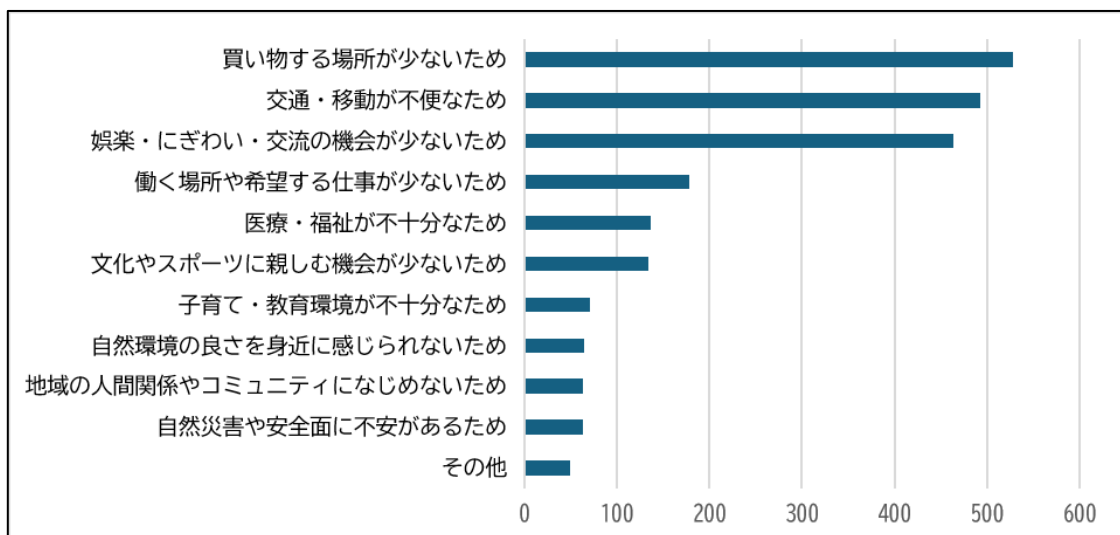
ふくしま田園中枢都市圏を暮らしやすいと感じている理由として、「自然が豊かで、身近に感じながら暮らせるため」次いで「買い物する場所が身近にそろっているため」との回答が半数以上を占めており、豊かな自然と、生活上の利便性維持の両立が必要であることがわかりました。

問 10

Q8 でどちらかと言えば思わない、全く思わないと回答した理由を、3 つまで選択してください。

買い物する場所が少ないため	528人
交通・移動が不便なため	492人
娯楽・にぎわい・交流の機会が少ないため	464人
働く場所や希望する仕事が少ないため	178人
医療・福祉が不十分なため	137人
文化やスポーツに親しむ機会が少ないため	134人
子育て・教育環境が不十分なため	71人
自然環境の良さを身近に感じられないため	65人
自然災害や安全面に不安があるため	63人
地域の間人関係やコミュニティになじめないため	63人
その他	50人

<回答者数:のべ 2,245 人>



(その他の主な回答)

- ・熊が怖い。
- ・子どもがいる世帯や非課税世帯などばかりを優遇しているため。
- ・インフラ(水道料金、ガソリン等燃料)が他市などに比べ常に高く生活を圧迫している。
- ・結婚相手を探そうにも女性自体が少ない。
- ・田園中枢都市圏同士の交流がほとんどないと思われる。
- ・事業所の光害、夜中や早朝のトラックの騒音など、環境面の問題。

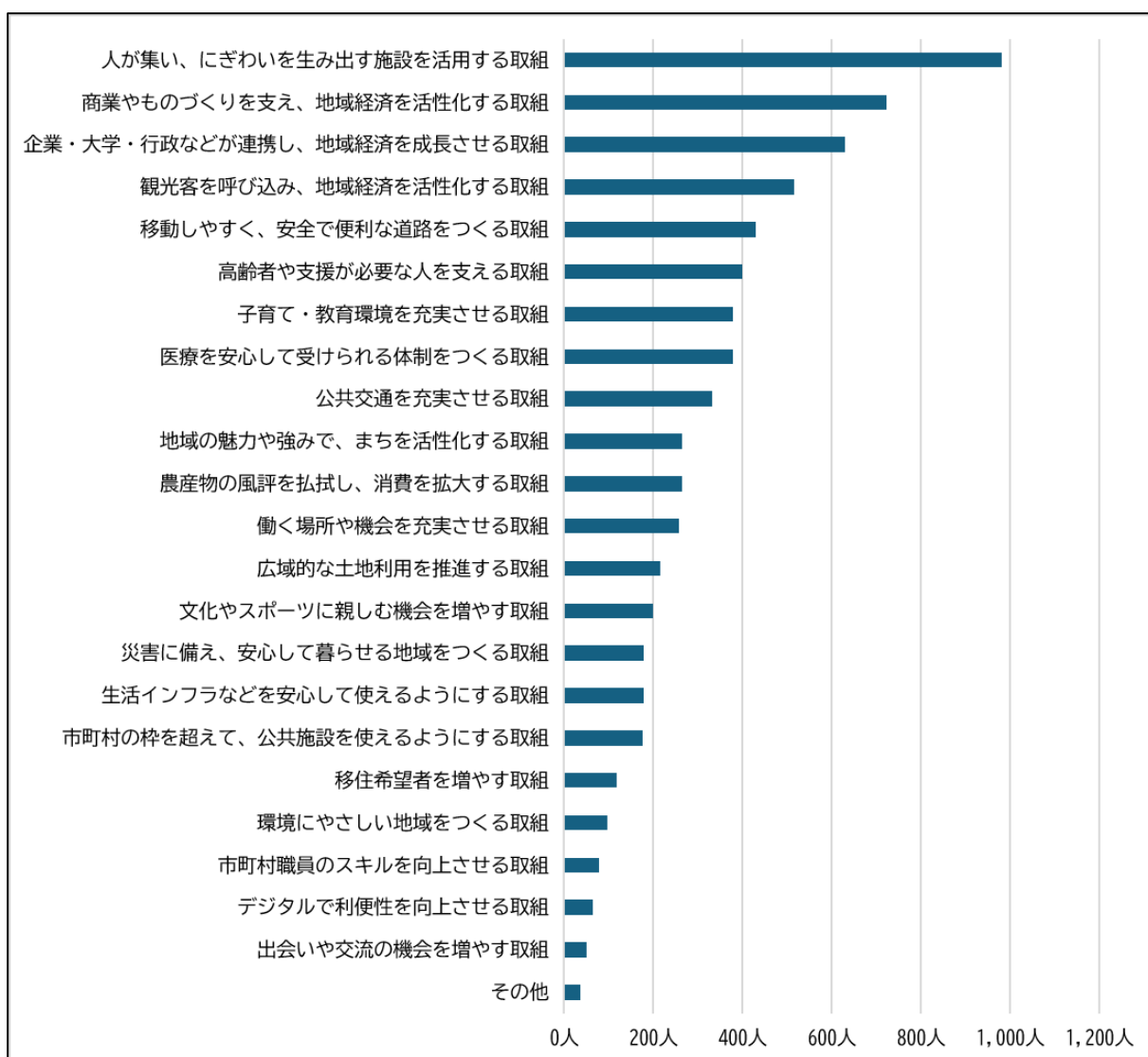
ふくしま田園中枢都市圏を暮らしにくいと感じている理由として、「買い物する場所が少ないため」「交通・移動が不便なため」「娯楽・にぎわい・交流の機会が少ないため」との回答が 7 割近くを占めており、都市としての生活機能と利便性の向上が望まれていることがわかりました。

## 問 11

今後、ふくしま田園中枢都市圏では、どのような取組の充実が重要だと思いますか。

人が集い、にぎわいを生み出す施設を活用する取組	980人
商業やものづくりを支え、地域経済を活性化する取組	723人
企業・大学・行政などが連携し、地域経済を成長させる取組	630人
観光客を呼び込み、地域経済を活性化する取組	516人
移動しやすく、安全で便利な道路をつくる取組	430人
高齢者や支援が必要な人を支える取組	399人
医療を安心して受けられる体制をつくる取組	377人
子育て・教育環境を充実させる取組	377人
公共交通を充実させる取組	332人
農産物の風評を払拭し、消費を拡大する取組	264人
地域の魅力や強みで、まちを活性化する取組	264人
働く場所や機会を充実させる取組	257人
広域的な土地利用を推進する取組	215人
文化やスポーツに親しむ機会を増やす取組	198人
災害に備え、安心して暮らせる地域をつくる取組	178人
生活インフラなどを安心して使えるようにする取組	177人
市町村の枠を超えて、公共施設を使えるようにする取組	175人
移住希望者を増やす取組	117人
環境にやさしい地域をつくる取組	96人
市町村職員のスキルを向上させる取組	79人
デジタルで利便性を向上させる取組	64人
出会いや交流の機会を増やす取組	51人
その他	37人

<回答者数:のべ 6,936 人>



(その他の主な回答)

- ・高齢者や子育て世代をつなげて支え合う地域コミュニティ
- ・駐車料金や駐車時間の優遇措置
- ・圏域共通の高等教育機能の強化
- ・若者向けの生活魅力の創出
- ・公害に関するルール設定
- ・地域の治安向上

ふくしま田園中枢都市圏において充実が求められる取り組みとして、「人が集い、にぎわいを生み出す施設を活用する取組」が最も多く、次いで「商業やものづくりを支え、地域経済を活性化する取組」「企業・大学・行政などが連携し、地域経済を成長させる取組」との回答が多くありました。

### 【政策調整課まとめ】

令和4年度に形成した「ふくしま田園中枢都市圏」は、アンケートによる取り組みの認知度が3%未満に留まるなど、まだまだ周知の必要がある状況ですが、住民の日常生活においては、7割以上の方が買い物などの余暇活動で居住地以外の圏域内市町村を利用し、約2割の方が通勤・通学していると回答しており、市町村間で一定程度、交流が行われていることがわかりました。

ふくしま田園中枢都市圏の暮らしやすさについては、主に豊かな自然と生活上の利便性の理由から、比較的肯定的な意見が多かった一方で、4割近くの方が暮らしやすい地域と思わないと回答しており、その理由として、買い物する場所が少ないことや、移動に不便を感じることにぎわい不足などの意見が多く挙げられました。

また、今後充実が求められる取り組みとして、「人が集い、にぎわいを生み出す施設を活用する取り組み」が最も多くの回答があったことから、集客施設の整備・活用など都市機能を強化し、圏域全体へ経済効果を波及させる取り組みが必要であることがわかりました。

今後も、皆さまからの貴重なご意見を参考にしながら、ふくしま田園中枢都市圏の取り組みを推進してまいります。ご協力ありがとうございました。

### 【問い合わせ先】

福島市役所(〒960-8601 福島市五老内町3番1号)

《アンケート内容について》 政策調整課 電話024-525-3788(直通)

《LINE アンケート制度について》 広聴広報課 電話024-563-7488(直通)